

別表

平成29年8月以降に発生した主な死亡災害等一覧（宮城労働局管内）

	発生年月	発生時間	事故の型	起因物	業種	事業場の労働者数	被災程度別	災害の概要
1	平成29年8月	午後4時頃	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (3.2.1)	1～9人	死亡	壁補修工事中、コンベア点検用のステージから、壁補修用足場に移る際、当該コンベア内に落下し、巻き込まれ、死亡した。
2	平成29年8月	午前8時頃	爆発	炉・窯等	鉄鋼業	300人以上	不休	炉内に冷却水の浸水があり、炉内で爆発が発生した。負傷者なし。
3	平成29年9月	午前8時頃	交通事故(道路)	トラック	一般貨物自動車運送業 (4.3.1)	10～29人	死亡	国道のトンネル内を走行していたトラックが縁石に接触し、その弾みで対向車線をはみ出し、対向車線を走行してきた路線バスに正面衝突し、トラックの運転手が死亡した。
4	平成29年9月	午前9時頃	爆発	炉・窯等	鉄鋼業	30～49人	不休	操業終了後、炉内冷却のため散水作業をしていたところ、炉内で爆発が発生し、火傷や眼を負傷した。
5	平成29年9月	午前10時頃	墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等	倉庫業 (8.4.1)	10～29人	死亡	穀物を入れていた空サイロ内下部の配管上で、ケレン棒を使用して、サイロ内壁面に付着した穀物の粉をかき落とす作業をしていた作業員が、サイロ底部に転落し、そこに次々とはがれ落ちてきた穀物の粉に埋まり、窒息死した。
6	平成29年10月	午前8時頃	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	産業廃棄物処理業 (15.1.2)	10～29人	死亡	被災者が空き缶等を圧縮するスクラッププレスに缶類を並べていたところ、センサーが被災者の身体を感知したため、当該プレスが動き出し、身体をはさまれ、死亡した。
7	平成29年11月	午後9時頃	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	製鉄・製鋼・圧延業 (1.10.1)	100～299人	死亡	鋼材を結束する機械を停止させ、2名でその掃除・点検をしていたが、被災者が当該機械から離れる前に相方が機械の運転を再開してしまい、被災者が動いた当該機械の間にはさまれ、死亡した。
8	平成29年12月	正午頃	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (3.2.1)	1～9人	死亡	鉄骨造工場増築工事現場で、組立て中の鉄骨柱が傾き、柱間を渡していた梁の上にいる被災者が約7mの高さから墜落し、死亡した。
9	平成30年1月	午前9時頃	火災	溶接装置	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (3.2.1)	1～9人	不休	鉄筋の圧接作業中、アセチレンガスのボンベの接続箇所がガス漏れが認められたので、バルブを閉めようとしたところ、漏れたガスに引火し、火傷を負った。
10	平成30年1月	午後2時頃	転倒	フォークリフト	造船業	100～299人	死亡	フォークリフトを使用して荷を吊り、移動中、フォークリフトが転倒し、運転席から投げ出された運転手が路面とヘッドガードの間にはさまれ、死亡した。